

## 平成23年度・第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会議事要録

開催日 平成23年6月16日(木) 午後3時30分～午後4時50分

会 場 小平市立学校給食センター会議室

出欠席 出席者10名 欠席者 3名 事務局 4名

傍聴者 なし

### 次 第 議題

- 1 委嘱状伝達
- 2 教育長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 委員長・副委員長紹介 挨拶
- 5 議題
  - (1) 協議事項
  - (2) 報告事項
    - ① 平成22年度中学校給食費会計報告について
    - ② 平成23年度中学校給食実施計画について
    - ③ その他

## 議 事 要 録

### 所長

皆さん、こんにちは。お忙しいなか出席をいただきありがとうございます。

第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会開催にあたりまして、委嘱状の伝達を行ないたいと思います。

委嘱状は教育長から伝達させていただきます。

(教育長より委嘱状伝達)

以上で、委嘱状の伝達を終了いたしました。引き続き、教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

### 教育長

只今、委員の皆様方に委嘱状をお渡しさせていただきました。中学校給食が

より良くなりますよう活発なご意見、ご議論をいただきますよう、まずはお願いをしたいと存じます。

去る3月11日に発生しました大震災で多くの方々が、今も大変なご苦勞をされています。1日も早い復興を祈るばかりでございます。

震災の影響は、原子力発電所の事故による計画停電や放射能汚染等までにおよび、給食のみならず児童・生徒の安全面も心配されております。このような中で、東京都では昨日から、都内100か所の放射線量の測定を開始し、本日、小平市の2か所で測定が行われ終了したとの報告を受けております。また、小平市独自で、保育園児や小中学校の児童生徒等の安全のために、放射線量の測定を速やかに実行に移すべく準備をすすめております。

震災の影響は、しばらく続くと思っておりますので、安全への努力は当分継続して行く必要があるとも思っております。

さて、皆様、ご存知のことと存じますが、中学校給食は、市内の8校の給食を一度に調理して、各中学校へ届ける共同調理場方式でございます。

私も、何度か試食をいたしました。小学校のように学校内で作る自校式の給食と同様、美味しいと思っております。栄養士や調理員をはじめ中学校給食に携わっている皆様のご尽力もございしますが、中学校給食を昭和57年5月から開始して以来、この共同調理場運営委員会におきまして、委員の皆様から頂く貴重なご意見の積み重ねによって、今日の学校給食センターが健全に運営されているものと確信いたしております。

教育委員会といたしましても、安心・安全で児童・生徒に喜ばれる給食の、維持向上を図るための努力をしてまいりたいと考えております。また、食育につきましても、小平第六小学校に栄養教諭が配置され、市内の19小学校と8中学校の食育推進が一層図られていくと思っております。各学校でも食育全体計画を策定し、食育リーダーを選任して食育を推進しているところでございます。

簡単でございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしく願いいたします。

## 所長

教育長、ご挨拶ありがとうございました。

本日、第一回目の運営委員会でございますので、皆様から自己紹介をお願いしたいと存じます。

( 自 己 紹 介 )

## 所長

自己紹介ありがとうございました。

続きまして、学校給食共同調理場運営委員会の委員長と副委員長を紹介させ

ていただきます。例年、中学校校長会会長に委員長をお願いいたしております。小平第一中学校校長に当委員会の委員長に、副委員長を小平第六中学校校長をお願いいたしたいと思っております。皆様、よろしく願いをいたします。

(全員了承)

それでは、委員長からご挨拶をいただきたいと思っております。委員長、よろしくお願いいたします。

### 委員長

皆様、こんにちは。昨年に引き続き委員長を3年間務めさせていただくことになります。運営委員会の他に献立作成委員会にも出させていただいております。給食に3年間かかわることになります。好き嫌いが無いせいか給食を当然のように食べておりましたが、運営委員会や献立作成委員会の話を聞いておると、食べるという事を考えますと、食ということの奥の深さをつくづく感じました。安全、衛生、栄養、さらに教育面での食育が絡んでまいりますと、大変深いものがあると思っておりますので、今年、一年勉強していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 所長

委員長、ご挨拶ありがとうございました。

ここで、委員の皆様にお知らせがございます。皆様のご発言を録音させていただいております。録音した内容を議事要録にし、皆様に校正していただいた後、小平市のホームページ等に掲載し、公開いたしますのでご承知いただきたいと思っております。

議事に入ります前に、学校給食共同調理場運営委員会の役割等につきまして、パワーポイントを使いまして、栄養士から説明をさせていただきます。

(栄養士によるパワーポイント)

### 所長

それでは、委員会の進行を委員長をお願いしたいと思います。

### 委員長

議事を進めてまいりたいと思っております。

第1の協議事項はありますか

所長 本日は、特にございませぬ。

### 委員長

協議事項は無いということなので、報告事項にいきたいと思っております。「平成22年度中学校給食費会計報告」をお願いいたします。

## 所長

お手元の資料1に添いまして説明をさせていただきます。

まず、給食費の監査でございますが、6月3日に中学校校長会会長、それから、中学校保護者代表2名の監査委員に、収支決算書に基づきまして、諸帳簿、証拠書類等監査していただき、ご承認をいただいたものがお手元の資料1の決算書でございます。

平成22年度中学校給食費会計1年間分の給食費の決算でございます。

収入の部、給食費でございます。給食費は、1食280円で、生徒・教職員、試食会等の給食費でございます。年間の総額が220,372,429円でございます。2番目の諸収入でございますが、預金の利息が16,000円でございます。次に、保存食代でございますが、0157の関係で調理前の食材料と調理後の給食を-20℃以下で2週間保存するよう義務づけられております。この保存食代として211,840円を小平市からいただいております。諸収入の合計が227,840円になります。つづきまして、前年度繰越金でございます。これは、21年度からの繰越金で1,002,687円を22年度当初予算に入れたものでございます。4番目の過年度分給食費の収入が、633,233円でございます。平成22年度に学校給食センターで催告等をしたことにより収入になったものでございます。

以上、収入の合計でございますが222,236,189円でございます。

次に、右の欄の未収入額についてご説明いたします。22年度に発生した給食費の未収入額は1,817,820円でございます。収納率で申し上げますと99.2%で、件数的には53件になります。未納の解消には各中学校で並々ならぬご努力をいただいておりますことも併せて報告をさせていただきます。この未納金につきましては、学校給食センターで5年間催告等を行ない未納を減らす努力をいたします。

次に支出の部でございます。食材料費は食材料への支払にあてております。一番目に、主食、牛乳、副食と明記されております。合計額が、219,743,175円でございます。2番として給食費還付金でございます。還付金は、主に、アレルギーを持つ生徒への還付や3月11日の大震災による計画停電のため、パン・牛乳・デザートという簡易な臨時献立により対応したときの差額を3年生と教職員に還付したものです。平成22年度につきましては、1,520,490円でございます。3番目は、ゆうちょ銀行手数料で70,700円でございます。

支出合計として221,334,365円でございます。

以上が、平成22年度の収支決算でございます。収入支出差引額についてですが収入の合計から、支出の合計を引きますと901,824円となります。

これにつきましては、平成23年度へ繰越いたしますが、2・3年生について大震災による臨時献立の還付すべき差額分を返金せず、新年度、最初の給食費で調整をしますので、繰越金のほとんどを調整金に充てることとなります。

次に、基金についてでございます。物価調整基金として、2,000,000円ございますが、平成22年度につきましては、基金を使用することなく運営ができました。

今後の予定といたしまして、平成22年度中学校給食費会計収支決算書につきまして6月24日の教育委員会への報告後、各学校長への報告、保護者の方には7月の献立表の裏面に印刷いたしまして、ご報告させていただきます。また、学校給食センターのホームページにも掲載を予定しております。よろしくお願いたします。以上でございます。

### 委員長

平成22年度中学校給食費会計収支決算書につきまして、ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。無いようですので、次の報告事項、平成23年度中学校給食実施計画の説明をお願いします。

### 所長

それでは、引き続きまして平成23年度中学校給食実施計画につきましてご説明いたします。この計画は、平成22年度第3回共同調理場運営委員会でご審議をいただき決定されたものでございます。

実施計画につきましては、毎年中学校8校から年間給食予定表を提出していただきます。それに基づきまして学校給食センターで年間給食回数を決定いたします。今年度につきましても、中学校8校から提出いただきまして、年間給食予定表に基づきまして計画を作成させていただきました。

1の実施期間でございます。平成23年4月8日（木）から平成24年3月23日までを予定してございます。

4番目の表を見ていただきますと、各学校の学年毎に、予定の給食回数、年間の給食費の予定が載っておりますのでこちらを参考にさせていただきたいと思っております。新たに、花小金井南中学校に特別支援学級が創設されました。

5番目の給食費でございます。給食費につきましては、平成23年度につきましても、一食280円で前年同様でございます。280円の中身でございますが、この施設の維持管理経費や人件費及び光熱水費は含まれておりません。食材費に掛かる1食単価でございます。

7番目の献立作成でございます。献立作成につきましては、学校給食センターの栄養士2名が献立を立てております。

中学校の場合は、小平市献立作成委員会を各学期に1回開催いたしまして、栄養士が作成いたしました給食献立案を委員会で審議、ご意見をいただき、最

最終的に決定する形を取らせていただいております。

学校給食センターの特徴でございますが、コロッケ等は原材料から作る手作りを基本にしております。冷凍加工品、半加工品は使用いたしておりません。安全には十分注意いたしております。

野菜につきましては、平成8年にO157による食中毒問題が起きてからは、衛生管理が厳しくなり、現在は、生野菜は提供いたしておりません。調理をする際中心温度を測りますが、加熱は75℃で1分間とされておりますが、学校給食センターではノロウイルス菌が死滅する温度、85℃で1分間としております。野菜につきましては、小平産地場野菜の導入を推進いたします。次に、姉妹都市北海道小平町の米「ななつぼし」を年間を通して導入していく予定です。お米は無洗米に精米して、小平市内20店のお米屋さんの組合である小平市米穀小売商組合を通して購入いたします。

次に、8番目の衛生管理でございますが、こちらで従事する職員と調理場で働く調理員すべて、月2回の細菌検査を行いまして、衛生管理を徹底させていただいております。9番目の食育でございますが、学校給食センターでは食育推進に向け学校との連携を図りたいと思っております。学校給食センターのホームページでも給食に関する情報を発信したいと考えております。

食育推進に向けて各学校から要望があれば、学校給食センターの栄養士が学校に出向いて、授業等に参画させていただければと考えております。昨年の例で申しますと、小平第五中学校で全校生徒を対象に給食の話をさせていただきました。また、一年生は職場訪問、二年生は職場体験を行っておりますが、昨年、小平第四中学校と小平第五中学校の二年生に、実際に調理場に入り職場体験をしていただきました。今年度も数校からご要望がありますが、是非、職場体験にいらしていただければと思っております。

以上でございます。

### 委員長

説明のありました平成22年度中学校給食費会計報告と平成23年度中学校給食実施計画について、ご質問等、ございましたらお受けしたいと思います。

### 委員

給食費会計報告については、会計監査を実施していますので問題ないと思いますが、未納の額が昨年より増加しているように思います。もし、このまま未納が増えるようであれば、他市で導入しているプリペイドカード方式にして未納をなくす方法も視野に入れるべきと、個人的には思っています。

### 所長

未納が増えたとの件でございますが、平成21年度と比較いたしますと数万円の増加があります。ほぼ横ばいになっております。毎年、学校長、担任の先

生方、給食担当教諭、事務の方等の徴収の努力で未納額を最小限にとどめていただいていると思っています。

他市の例で、プリペイドカードのお話が出ましたが、小平市のように生徒が同じ給食を同時に食べる完全給食ではなく、お弁当併用給食だと思います。小平市は完全給食ですから、全員の方に買っていただくことになると思いますが、導入する費用や食数の把握等、研究すべきことが多々あると思います。

### 委員長

その他、ご質問等ございますか。

ないようですから、その他の項目で計画停電について説明をお願いします。

### 所長

東京電力（株）が6月9日付でホームページに公開した、計画停電の運用についてをご覧ください。従来、1回3時間程度停電していたものを、1日1回2時間程度に見直したもので、6月20日から運用されます。実際の停電については、何時から実施するかは分かりません。

計画停電が実施された場合の影響は、午前中の停電ですと調理に影響がでます。例えば、1回2時間といえども停電時間帯によっては食器の洗浄・消毒ができなくなることが予想されます。学校給食センターでは、できる限り通常に近い給食を出せるよう検討しておりますが、急な献立の変更、一部食器の家庭からの持参等お願いするかもしれません。計画停電が実施されるような場合の対応は校長会等を通じて決めて行きたいと思っています。

計画停電が実施されないよう望んでいますが、お話をさせていただきました。

もう1点、福島第1原子力発電所の事故に伴う食の安全についてでございますが、保護者から食材料の産地等の問い合わせがあります。学校給食センターでは特に産地を指定していません。野菜類につきましては、現在、関東地方や九州地方の野菜が主に入荷しています。牛乳は群馬県太田市の東毛酪農共同組合の低温殺菌牛乳をだしていますが、去る5月10日頃、牧草に基準を上回る放射線量が測定されたため、安全な輸入飼料に変えるなどの対策をしています。5月10日以降は基準値を下回っているため牧草の給与制限は解除されています。

国の出荷制限等に当たらず市場に出回っている食品は安全であると考えております。

### 委員

現在、東京都では他府県からの流通品については、流通してきた物の検査はしていません。都内産農産物については検査をしています。流通品は放射性物質の状況を出荷する現地でしっかり検査し、東京都はその検査に対してサポートしていくという位置づけになっています。現実には雨の状況等いろいろ調べま

すので、産地から出ないようになっていきます。出荷されてきている物は安心と  
考えていただく形になると思います。

### 委員長

計画停電と食の安全に関しましてご質問等ございますか。

### 委員

停電の時に、冷蔵庫や冷凍庫等の電源はどうなっているのでしょうか。

### 所長

自家発電設備はございません。停電中は極力、扉を開けないようにしました。  
保存食については-20℃のためある程度持つと思います。学校の冷蔵庫につ  
いても扉を開けないようにしました。3月の停電では1度だけ午前中の停電が  
あったと思います。

### 委員

自家発電を整備する費用がどの位掛かるかわかりませんが、計画停電が長引  
くのであれば、自家発電の設置を検討すべきと思います。

計画停電時の臨時献立の時ですが、家庭から副菜を持参しても良いというお  
知らせがありました。副菜よりもおにぎりの方が中学生には良いのではない  
か、また、停電で調理が困難な日にはお弁当持参を保護者にお願いしても良い  
と、個人的には思っています。

### 委員

停電が午後ですと食器が洗えない、午前ですと調理が難しいという状況の中  
で給食を出していただけるのはご苦労なことと思います。調理場で働いている  
方も予定が組めず大変だと思います。

午前中の停電の場合ですが、調理を開始する時間は解りませんが、通常の時  
間に合わせるのではなく、給食の時間を早くしたりする工夫をすれば良いと思  
います。食材料を捨ててしまうのはもったいないと思います。

### 所長

通常ですと午前7時から調理を開始し、午前11頃、4,500食分の調理  
が終了し学校へ配送しています。午前9時30分から停電が行われた場合、4  
時間前の午前5時30分から調理を開始すれば出来上がりますが、学校で給食  
時間を早めていただければ可能となりますが、委託会社との協議も必要です。

計画停電が開始になった場合でも工夫しながら給食を出していきたいと思っ  
ています。

### 委員長

他に、ご質問等ございますか。ないようですから、次に、多摩小平保健所か  
ら「お知らせ」があるとのこと。

### 委員



東京都食品衛生自主管理認証制度のパンフレットに沿ってお話をさせていただきたいと思います。東京都として調理場等の食品を作っている全ての施設に対して、日頃から衛生管理を頑張っている施設に、もう少し頑張ってくださいというものを制度化したものになります。本日は、東京都食品衛生自主管理認証制度があるという事を、学校、厨房関係の方、保護者の方に知っていただきたいと思います。この制度で取得していただきますと認証マークと製品に貼ることができる認証取得シールが使えるようになります。東京都としては珍しくHACCP（ハサップ）と同じように、衛生管理の方法を買ってくださいという発想のものです。例えば、給食センターで取得する場合は、衛生管理のマニュアルを作成し、そのマニュアルを民間の指定審査事業者が審査をします。申請時に5万円から15万円位の手数料を払って、客観的に衛生管理を見てもらい1年、3年、5年、5年と更新制で継続的に見てもらうことで、良好な衛生管理を維持していこうというものです。

この制度のできた理由は、昔、カイワレのO157がありました。それまでは保健所や職員が施設に対して衛生管理を徹底して、食中毒をおこさないよう指導していました。時代とともに食中毒菌も変わってきます。行政だけでなく施設が責任を持って自主的管理を徹底してもらうことと、マンネリではなく継続してもらうよう制度化することになりました。少しお金を掛ける分、衛生管理をしっかりやってもらおうという事があります。役所が入って指導する場合、通り一遍に受けとめられがちですが、民間事業者が入ることによって、客観的に継続的に見てもらうことで、衛生管理に対する考え方のひずみ等うめることにも役立ちます。東京都が平均的な基準を決めていますが、どこの施設でもできるような基準で、例えば、清掃についてというような基準が幾つかありまして、それを民間事業者が見ることになります。

おにぎりを手を洗わず作るのと、手を洗ってから作るのでは、どちらがリスクを負うかは一目瞭然で、衛生管理とはまさにこういう事だと思います。手を洗う事とか清掃を地道に行うことで、食中毒を未然に防ぐことになると思います。学校給食センターでも取得して欲しいところですが、実際には予算化も必要ですので、別の部所で教育庁にも働き掛けをしています。皆様方からの働き掛けも必要だと思っていますので、お話をさせていただいています。まずは、学校給食センターが取得しないまでも、この制度を知っていただいて認証マークのついているお店を選んだり、認証を取得している豆腐屋さん等納品業者を選んでいただければ、一定の衛生管理のレベルを超えていますので安心かと思えます。

以上、周知させていただきました。

**委員長**

只今の食品衛生自主管理認証制度についてご質問等ございますか。  
ないようですから、最後に、学務課長お願いします。

### **学務課長**

本日は、いろいろなご意見をいただきありがとうございます。給食費の未納につきましても課題もございますが、未納を少しでもなくすよう頑張っていきたいと思っております。安全管理の件で牛乳についての説明がありました5月10日の牧草についてですが、群馬県畜産課のホームページを見ますと、5月10日以降は牧草を使っても良いという事だったと思っております。原乳についても放射能の影響で出荷制限になるようなことにはなっていません。3月にヨウ素が若干検出されましたが規制値の10分の1であったという事ではありますが、その後も検査をしておりますして全て基準値以下でございますので、群馬県では出荷制限をしていませんので、健康には影響ないということでございます。

計画停電の話もございましたが、万が一の事で実際に実施されるかどうか分かりませんが、市内8中学校で4,500食を作るという事ですから、前もってどうするかを決めておかなければならないということでございます。それについて前回の計画停電を踏まえて検討しているという事でございます。ある程度通常に近い形で提供できればと考えていますが、ただ食器が洗浄できないときには、皆様のご協力をいただくことのお話もいたしました。

今後とも皆様のご意見、お力添えをよろしくお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

### **委員長**

平成23年度第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。